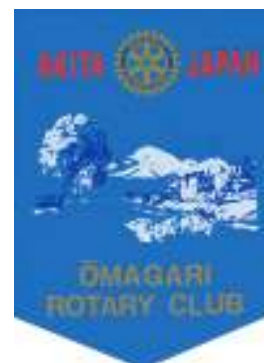


＝＝＝クラブ紹介＝＝＝

《このコーナーでは、ガバナー公式訪問で訪れたクラブについてご紹介します》

大曲ロータリークラブ

会長 板先 進 幹事 嘉藤 隆



1959年の創立で、創立51年を超えたクラブで、会員数は2010年7月1日現在35名で、このうちチャーターメンバーは1名おられます。大仙市と美郷町がエリアです。1989-90年度、2005-06年度には地区ガバナーを輩出しております。

グランドパレス川端が例会場で、例会は毎週火曜日12時30分から13時30分に開催されます。歴史あるクラブですが、例会にも工夫を凝らしていて、いつも同じ席に同じ人が固まらないように、席次は毎回抽選で決められます。入口を入った所の机の上に抽選箱があり、手を入れて札を取り、番号で指定されたテーブルに着席します。テーブルの上には、本日の式次第と料理のメニューが置かれています。本日は「和食料理」、次週は「洋食料理」とのご案内も書き込まれていました。ロータリーソング斉唱の後はハンドシェイクタイムで、全員が握手し合います。例会場の壁には、個人毎のニコニコ提出表とR財団募金進行表が掲げられていました。意識の高さの「現れでしょうか。

板先会長の就任後挨拶の中で「会員の皆様の日常の職業奉仕を基礎に地域社会での役割を担いながら、クラブ、職業、社会、国際奉仕の活動をしていくことで、地域社会が活性化されると同時にロータリーの存在をロータリアン以外の方にも認めてもらえることになるでしょう」とあります。クラブの最も得意とする分野でも、「地域に根ざした活動、クラブとしても、各個人においても」と明確に述べておられます。今年度以降の取り組みについても、長期計画を作る準備をする、楽しい魅力あるクラブ作りをする等を挙げられてい

ます。クラブ運営では、例会、合同例会(大仙市内4クラブ)、クラブ協議会、理事会等の他に、四大奉仕委員長だけでなく、小委員会委員長を含めた“委員会活動について、自由討議形式で随時開催する”「情報集会」というものがある。クラブの運営は会長だけのものではなく、委員会の動きは欠かせないものですね。

